「2026 輝く県民活躍大賞」受賞活動・実施主体

1　受賞活動、実施主体一覧

ジュニア・ユース部門

※部門毎、実施主体五十音順

1	活動名	学校・世代の垣根を越え、地域に根差す音楽活動
	実施主体	新庄吹奏楽団ジュニア部（新庄市）
2	活動名	山形の魅力を発信して山形の人口を増やそう
	実施主体	山形県立山辺高等学校 食物部（山辺町）
3	活動名	山形城北ぽかぽか食堂
	実施主体	山形城北ぽかぽか食堂（山形市）

若者部門

1	活動名	「火災予防教室を“みんなで”日本中の子どもたちに」 ー子どもを守る愛の火災予防
	実施主体	一般社団法人 火災予防のＯＮＥ　ＬＯＶＥ（東根市）
2	活動名	ＷａＣｒｅａｔｅ　ＣＡＭＰ
	実施主体	学生団体 わーくしょっぷ屋さん（酒田市）
3	活動名	地域振興会社「ＦＵＲＵＳＡＴＯの未来」による 中間支援・地域おこし協力隊サポート・地域商品開発事業
	実施主体	ＦＵＲＵＳＡＴＯの未来（中山町）

一般部門

1	活動名	壽 Ｒｅｂｏｒｎ（リボーン）プロジェクト
	実施主体	きびたき長井甦るの会（長井市）
2	活動名	エコドライブ講習会や脱炭素コミュニケーター養成による 地球温暖化防止活動の推進
	実施主体	特定非営利活動法人 山形県自動車公益センター（山形市）
3	活動名	わっさまるしぇ
	実施主体	わっさまるしぇ実行委員会（米沢市）

２　活動の概要

■　ジュニア・ユース部門（３件）

※部門毎、実施主体五十音順

受賞活動	学校・世代の垣根を越え、地域に根差す音楽活動		
実施団体	新庄吹奏楽団ジュニア部		
所在地	新庄市	会員数	35人（うち生徒25人）
代表者	団長　小屋 昌　（こや あきら）		
活動地域	新庄市		
活動内容、評価のポイント	・新庄市や最上郡内の小学３年生～中学３年生のメンバーで活動し、人口減少や少子化が進む最上地域で、音楽を通した子どもたち同士の交流や世代を越えた繋がりを作っている ・年に数回、市内のイベントや新庄吹奏楽団演奏会にて演奏 【評価ポイント】 ・学校単位等で取り組むことが難しくなっている吹奏楽の機会を確保し、音楽を通じて学校を越えた繋がりや学びを育んでいる活動		

受賞活動	山形の魅力を発信して山形の人口を増やそう		
実施団体	山形県立山辺高等学校 食物部		
所在地	山辺町	会員数	44人（うち生徒41人）
代表者	教諭　佐藤 吉　（さとう よし）		
活動地域	山辺町（山形県立山辺高等学校）		
活動内容、評価のポイント	・高校生レストランの運営（月１回以上） ・菓子製造及び自動販売機による販売、イベントでの菓子・惣菜の販売 ・インスタグラムで山辺町の生産者をＰＲしているほか、山辺町の棚田米を守るため、田植え・稲刈りの協力や、ドローンによるＰＲ動画を作成 【評価ポイント】 ・地域資源を活かした企画を立案し、他団体とも連携しながら継続的に実施しており、地域の人々の誇りにもつながる活動		

受賞活動	山形城北ぽかぽか食堂		
実施団体	山形城北ぽかぽか食堂		
所在地	山形市	会員数	40人（うち生徒36人）
代表者	代表　島崎 優子　（しまざき ゆうこ）		
活動地域	山形市（霞城公民館）		
活動内容、評価のポイント	・年に５～７回、山形城北高校の生徒が子ども食堂を開催 ・食材の手配等はＮＰＯと連携して行い、メニューの決定、調理、盛り付け、配膳、会場のセッティングなど、ほぼ全ての作業を高校生が行っている ・同時に、食堂利用者に対しフードパントリー※を開催 （※フードパントリー…何らかの理由で食品を入手することが困難な方に対して、食品などを無償で提供すること。） 【評価ポイント】 ・ＮＰＯと連携して社会課題を知り、高校生が自分で考え主体的に取組みを実施しており、特色ある活動		

■　若者部門（３件）

受賞活動	「火災予防教室を"みんなで"日本中の子どもたちに」－子どもを守る愛の火災予防		
実施団体	一般社団法人 火災予防のＯＮＥ　ＬＯＶＥ		
所在地	東根市	会員数	51人（うち若者46人）
代表者	代表理事　渡邉 航生　（わたなべ こうき）		
活動地域	県内（保育園・幼稚園・学校、地域、企業、団体等）		
活動内容、評価のポイント	・園児・小中学生・保護者を対象に、外出先や住宅での火災予防、119番通報、着衣着火時の対応などを学ぶ参加型教室を実施 ・企業・自治体・ＰＴＡ等向けの講演や、消防職員・保育士・教職員への指導者研修を行い、担い手を育成 ・絵本や動画、ワークシート等の教材を制作・公開 【評価ポイント】 ・今までの消防団活動とは違ったアプローチで独創性があり、火災予防に取り組む意識を子ども時代から育む効果が期待できる活動		

受賞活動	WaCreate CAMP		
実施団体	学生団体 わーくしょっぷ屋さん		
所在地	酒田市	会員数	３人（うち若者３人）
代表者	共同代表　鈴木 瑠花　（すずき るか）		
活動地域	酒田市		
活動内容、評価のポイント	・酒田市内全域をフィールドとして、デザイン思考を軸にした中高生向けプログラム「WaCreate CAMP」を実施 ・３～５日間で約15名の中高生が少人数で地域を巡り、空き家活用や地域資源を生かしたＰＲ企画などに取り組む ・大学生も運営に加わり、世代や立場を超えた交流と、参加者が将来地域と関わり続ける循環を生み出している 【評価ポイント】 ・地元の様々なステークホルダーを巻き込み実効性のある取組みを行い、地域課題の解決を担う人材の育成に寄与している活動		

受賞活動	地域振興会社「FURUSATOの未来」による中間支援・地域おこし協力隊サポート・地域商品開発事業		
実施企業	FURUSATOの未来		
所在地	中山町	従業員数	１人
代表者	代表　伊藤 一之　（いとう かずゆき）		
活動地域	山形市、中山町		
活動内容、評価のポイント	・地域商品開発・販売事業…芋煮会発祥の地である中山町の歴史に着目し、「北前いも煮」（棒だらを使用したレトルト商品）を商品化し販売 ・地域おこし協力隊サポート事業…研修で講師を務めるほか、協力隊員からの相談対応や、着任前後における入口・出口のサポートを実施 ・若者支援コンシェルジュ事業…「若者サポーター」に登録し、大学生から社会人まで幅広い世代からの様々な相談に対応 【評価ポイント】 ・地域おこしのプロが人材育成を行うほか、伝統文化食を通じて地域を活性化させ、精力的に地域商品開発や中間支援を行っており、エネルギーを感じる活動		

■　一般部門（３件）

受賞活動	壽 Reborn（リボーン）プロジェクト		
実施団体	きびたき長井甦るの会		
所在地	長井市	会員数	20人
代表者	共同代表　村田 孝　（むらた たかし）		
活動地域	長井市（水田「さわのはなファーム」・イベント・公共施設）		
活動内容、評価のポイント	・酒米・酒造りを通じた生きがいづくりと繋がりづくりを進めるため、山形県で暮らす東日本大震災の避難者等を対象に、酒米づくりの農業体験や交流会を実施 ・酒米づくりによる純米吟醸酒「甦る」を造り、復興イベントなどの交流に使用 【評価ポイント】 ・避難者の支援、地元伝統産業の復活、関係人口の創出というように、フェーズによって形を変えながら地域に貢献している活動		

受賞活動	エコドライブ講習会や脱炭素コミュニケーター養成による地球温暖化防止活動の推進		
実施団体	特定非営利活動法人 山形県自動車公益センター		
所在地	山形市	会員数	会員販社20社・個人８人
代表者	理事長　小関 眞一　（こせき しんいち）		
活動地域	山形県全域		
活動内容、評価のポイント	・エコドライブ講習会やこどもエコドライブ出前授業の実施 ・「脱炭素コミュニケーター制度」を立ち上げ、自動車販売員等に地球温暖化や脱炭素の教育を行い、次世代自動車への買い替えやエコドライブを推奨する人材を育成 【評価ポイント】 ・長年、エコドライブや環境保全活動に継続して取り組んでおり、特に脱炭素コミュニケーター制度は山形県初の取組みで、他自治体にも波及するなど、先駆性や広がりのある活動		

受賞活動	わっさまるしぇ		
実施団体	わっさまるしぇ実行委員会		
所在地	米沢市	会員数	実行委員会13人、出店会員80店舗
代表者	代表　遠藤 寛子　（えんどう ひろこ）		
活動地域	米沢市		
活動内容、評価のポイント	・わっさまるしぇ（子育て世代が立ち上げた手作りマルシェ）の開催 ・小学生が店主を務める「子どもショップ」では、企画・接客・お金の管理までを子ども自身が体験し、生きた社会教育・金融教育の場を提供 ・食品・雑貨販売や飲食にとどまらず、ライブアート等のパフォーマンス、バルーンアート、コンサートなど、文化・芸術・エンターテインメントを包括した多様なプログラムを展開 （「わっさ」は、置賜の方言で「いたずらする」という意味で、「米沢を元気にするなら、まず自分達が楽しんでいる姿を見せなければ」との想いから「わっさまるしぇ」と命名。） 【評価ポイント】 ・子育て世代が地域を巻き込んで様々なプログラムを展開し、５年間で 21 回と開催頻度も高く、勢いと熱量を感じる活動		